

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

「フィールドノート(2)：デジタルツールの活用」

開催のお知らせ・募集要項


このワークショップは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションをおこなっている研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。

今回は「フィールドノート」をテーマとしたワークショップ・シリーズの第2回です。フィールドノートの取り方については、京大式カードなどいくつかのやり方が提案されていますが、今回のワークショップではそういった特定のやり方を紹介するだけではなく、参加者の皆さんが日ごろ実践している具体的なノート術のアイデアやノートに関する悩みを共有する場にしたと思っています。参加者全員で意見を出し合い、アイデアを共有することを通じて、参加者の皆さんそれぞれが自分にとってのより良いノート術を考えるきっかけになればと思います。

今回のワークショップでは、とくにデジタルツールの活用法にフォーカスします。現地での記録をとる際に、どのようなデジタルツールを活用しているのか、デジタルツールの利点は何か、逆に欠点は何かなど、自由に対話できる場になればと思います。このワークショップを通じて、反対に、紙のノート（アナログ式ノート）の魅力も浮き彫りになるでしょう。

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2019年5月29日（水）13:00～16:00
  2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）  
マルチメディア会議室（3F・304）
  3. 企画・進行：青井隼人（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
  4. 参加資格：言語学のフィールドワークをおこなっている、もしくはこれからおこなおうとしている研究者・学生（大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください）。
  5. 定員：20名程度
  6. 参加申込方法：下記URLにアクセスして、専用フォームからお申し込みください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確認ください。なお、右記QRコードからでも同じページにアクセスできます。
- <https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/190529-flws-tech>
7. 申込締切：5月28日（火）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）
  8. 問い合わせ先：  
「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局  
info-lingdy[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）
  9. その他：
    - ・ワークショップは日本語でおこないます。
    - ・参加は無料です。
    - ・他の参加者に聞いてみたいことや解決したい悩みが具体的にある方は、申込フォームの「その他」にお書きください。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. お問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上